

第 15 回日本胎児治療学会学術集会 開催のご挨拶

第 15 回日本胎児治療学会学術集会を埼玉医科大学総合医療センター産科麻酔科が主催するにあたり、学術集会長としてプログラムの趣旨をご紹介し、会員並びにご参加の皆様にご挨拶を申し上げます。

日本においても胎児治療が広がり深みを増しつつある今日、本学会を立ち上げたパイオニアの皆様と、日本各地で診療と研究に尽力していらっしゃる皆様にご挨拶をこころより感謝しつつ、更なる発展を期して、当科一心となって学術集会を準備して参りました。学術集会のテーマは、「胎児治療を支える麻酔の力」といたしました。麻酔科医が学術集会長を務めるのは、第 4 回の聖隷浜松病院小久保荘太郎先生以来となります。その際に小久保先生のご依頼で私も講演の機会を頂戴しました。それが私とこの学会との出会いとなり、当科でもそれ以後、胎児治療の麻酔を実践し研究してきたことを思いますと、今回の学術集会が、胎児治療医はもとより、多くの麻酔科医や助産師、看護師、臨床心理士の皆様のご参加を得て、胎児治療の裾野を広げる契機となればとても嬉しく存じます。

プログラムの特徴として、胎児治療の経験が少ない方にとっても興味を持っていただけるように、基本的な解説も講演者をお願いしました。海外招待講演者は、ベルギーのルーベン大学で共に胎児治療を担っている胎児治療医 Roland Devlieger 先生と麻酔科医 Sarah Devroe 先生です。胎児治療の経験豊富な先生方にとっても有意義な学術集会とすべく、最先端の診療と研究もシンポジウムなどでご紹介いただきます。第 8 回会長を務めた本学の馬場一憲先生には、3次元超音波開発秘話をお話しいたします。出産ジャーナリストの河合蘭さんは、医療者以外の目からみた胎児の医療についてお話し下さることでしょう。座長やシンポジストには、本学会初参加の方も多くいらっしゃいます。一般演題も 27 題ご応募いただきました。本学術集会が新たな交流の場となり、胎児の医療が今後いっそう広がることに少しでも貢献できればと存じます。昨年好評だった、ハンズオンセミナーを今年も学術集会前日に開催いたします。オーガナイザーの村越毅先生始め、インストラクターの先生方に心より感謝申し上げます。

会場となります川越市は、歴史ある町並みとサツマイモや鰻などのグルメも楽しめる街です。ぜひ多くの皆様にご参加下さいますよう、主催校一同、心よりお待ちしております。

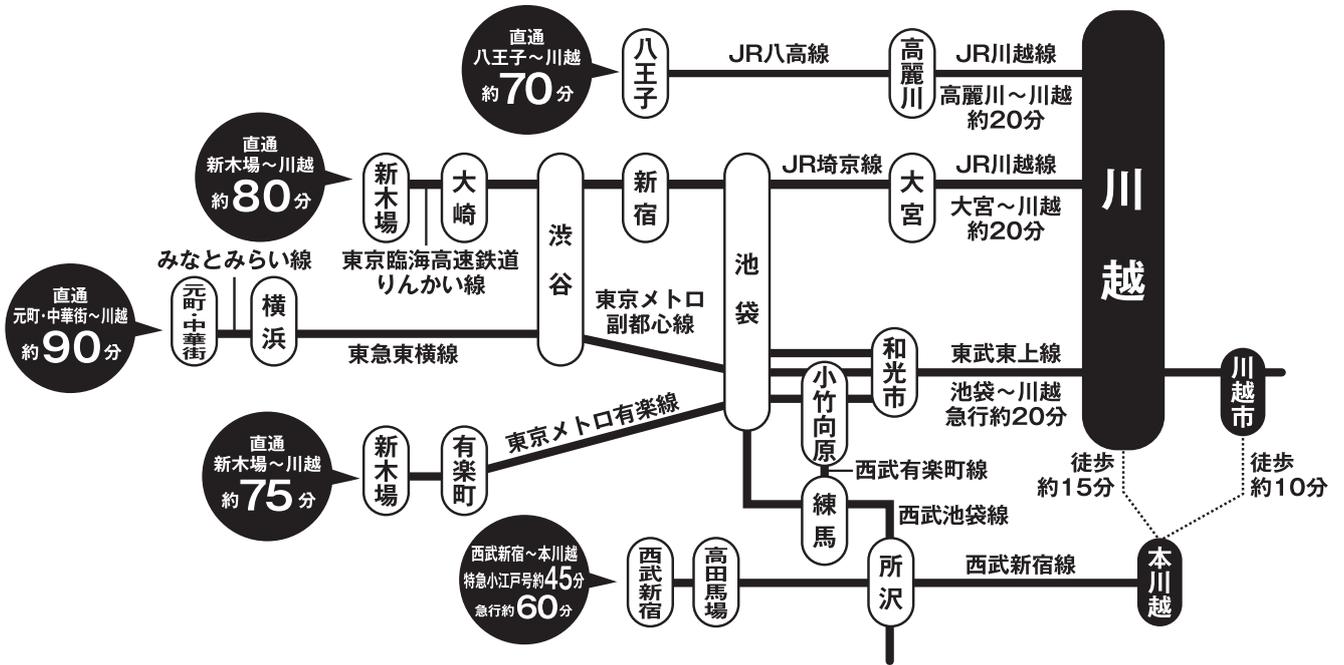
第 15 回日本胎児治療学会学術集会

会長 照井 克生

(埼玉医科大学総合医療センター 産科麻酔科 教授)



交通のご案内



周辺案内



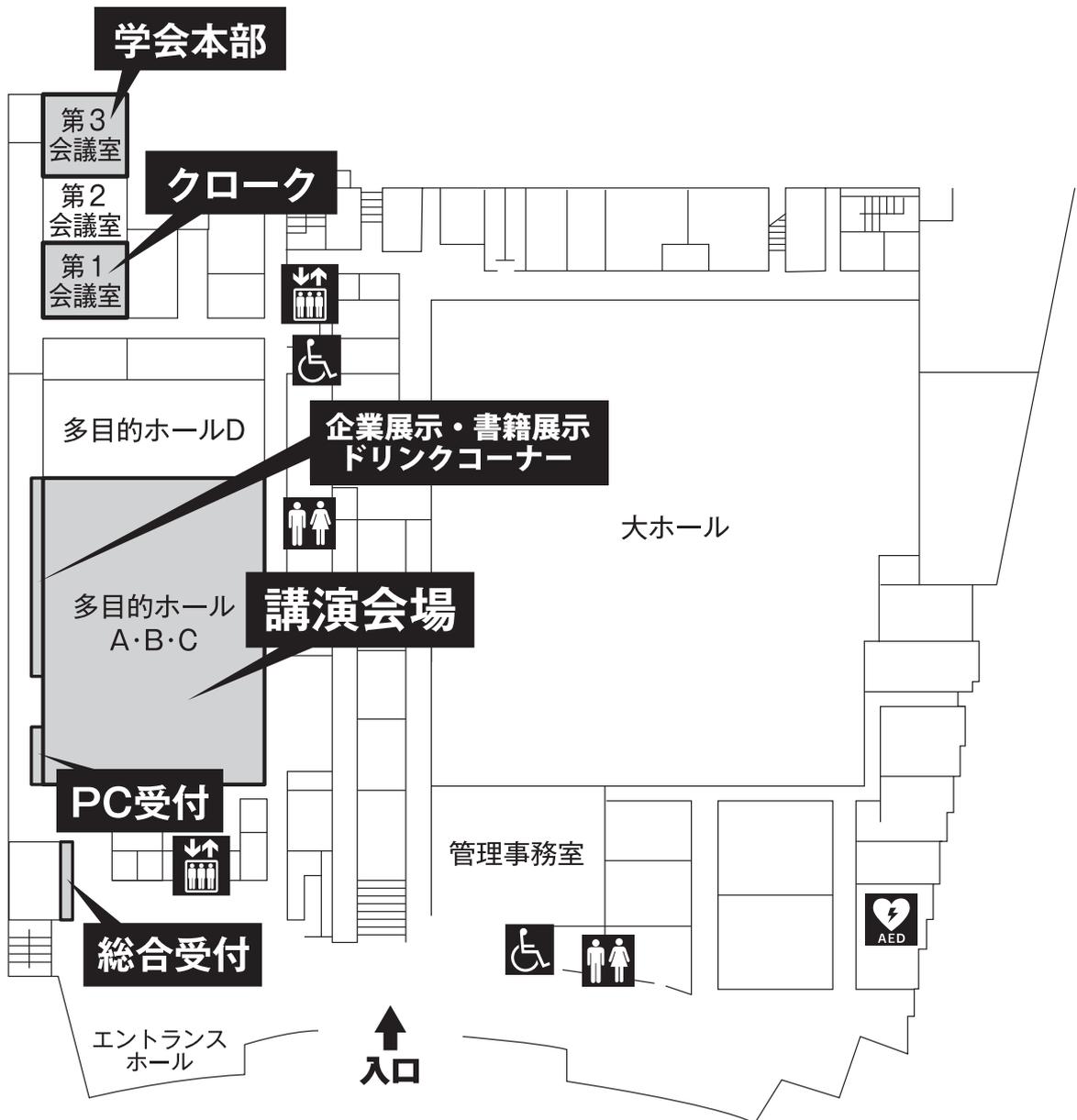
ウェスタ川越

〒350-1124 埼玉県川越市新宿町1-17-17

- JR川越線、東武東上線「川越駅」西口より徒歩5分
- 西部新宿線「本川越駅」より徒歩15分

会場のご案内

ウェスタ川越 1階



(6) 企業展示・書籍展示、ドリンクコーナー

日 時：11月18日（土） 10：00～17：30

11月19日（日） 9：30～15：00

場 所：ウェスタ川越 1階 多目的ホール横

(7) 会場利用にあたって

- ・会場内では、携帯電話の電源はお切りいただくか、マナーモードに設定してください。
- ・会場内は、本学術集会在が許可した方以外の撮影・録音・録画は禁止となっております。予めご了承ください。
- ・会場内は、所定の場所を除き全て禁煙です。
- ・原則として会場内での呼び出しは行いません。会場内でご連絡が必要な方は、総合受付付近に掲示板がございますのでご利用ください。

(8) 会員懇親会のご案内

日 時：11月18日（土） 18：45～20：45

会 場：ウェスタ川越 1階 多目的ホール D

参加費：2,000円

(9) 関連会議のご案内

- ・幹事会

日 時：11月18日（土） 12：25～13：25

会 場：ウェスタ川越 1階 多目的ホール D

- ・総 会

日 時：11月19日（日） 13：35～13：50

会 場：ウェスタ川越 1階 多目的ホール A・B・C 「講演会場」

2. 座長へのご案内

- ・ご担当セッションの開始時刻30分前までに参加受付を済ませていただき、会場内右手前方の次座長席にご着席ください。
- ・一般演題の発表時間は10分（発表6分＋質疑応答4分）です。時間厳守の進行をお願いいたします。

3. 演者へのご案内

(1) 発表形式、進行

- ・発表形式はPowerPointによるPCプレゼンテーションのみといたします。
- ・一般演題の発表時間は10分（発表6分＋質疑応答4分）です。一般演題以外の発表時間は座長の指示に従ってください。

- ・円滑なプログラムの進行のため、時間厳守にご協力ください。なお、疾患の一般的な概要などは既知のものとして省略していただき、直接本題に入ってください。
- ・発表時のスライドの送り（戻り）は、演台上の操作キーパッド、マウスを使用して、演者ご本人により操作をお願いいたします。レーザーポインタも演台上に用意してあります。

(2) PC 受付

- ・ご発表されるセッション開始時刻の 30 分前までに PC 受付でデータ受付および、試写をお済ませください。

受付日時：11 月 18 日（土） 9：30～18：00

11 月 19 日（日） 9：10～15：30

受付場所：ウェスタ川越 1 階 エントランスホール

(3) 発表データ

- ・当日、会場に用意しているコンピューターは Windows のみとなります。
- ・発表データは、USB フラッシュメモリーまたは PC 本体をお持ち込みください。

< USB フラッシュメモリーをお持ち込まれる方へ >

- ・アプリケーションソフトは以下のものをご用意いたします。
【Windows PowerPoint 2007、2010、2013、2016】
- ・不測の事態に備えて、必ずバックアップデータをお持ちください。
- ・フォントは、文字化けを防ぐため、OS 標準フォントをご使用ください。
(MS ゴシック、MSP ゴシック、MS 明朝、MSP 明朝、Times New Roman、Arial など)
- ・事前にご自身で、ウイルスチェックを必ず行ってください。
- ・発表後のデータは、学術集会事務局にて責任を持って消去いたします。

< PC 本体をお持ち込まれる方へ >

- ・Macintosh でデータを作成された方、または動画を使用される方は、必ず PC 本体をお持ち込みください。その際、電源ケーブル、ミニ D-sub15 ピン変換コネクタ、バックアップデータも併せてお持ちください。
- ・スクリーンセーバー、省電力、パスワード等の設定は必ず解除してください。

4. 一般討論者へのご案内

- ・ご質問される方は予めマイクの前でご準備ください。
- ・スムーズなプログラムの進行にご協力をお願いいたします。

胎児治療ハンズオンセミナー

日時：2017年11月17日（金） 13：00～17：30〔学会前日〕

会場：埼玉医科大学総合医療センター内スキルスラボ（高度救命救急センター3階）

※学術集会会場とは異なりますのでご注意ください。

ハンズオンセミナーへの参加には事前申し込みが必要です。

申し込み方法の詳細は、第15回学術集会ホームページ（<http://fetus2017.kenkyuukai.jp/event/>）をご確認ください。

【胎児治療ハンズオンセミナー 日程表】

13：00	あいさつ	村越
13：10	IUT/PUBS レクチャー	宮下
13：30	IUT/PUBS デモ	中田
13：40	IUT/PUBS 実習	各グループ
15：00	TA-shunt レクチャー	高橋
15：20	TA-shunt デモ	石井、笹原
15：30	TA-shunt 実習	各グループ
16：50	胎児治療の麻酔レクチャー	照井
17：10	質疑応答	
17：30	終了	
18：00	懇親会	院内レストラン「かもだ」

【インストラクター（敬称略、五十音順）】

石井 桂介（大阪母子医療センター）

岩垣 重紀（長良医療センター）

笹原 淳（大阪母子医療センター）

住江 正大（福岡市立こども病院）

高橋雄一郎（長良医療センター）

照井 克生（埼玉医科大学総合医療センター）

中田 雅彦（東邦大学医療センター大森病院）

馬場 一憲（埼玉医科大学総合医療センター）

宮下 進（獨協医科大学病院）

村越 毅（聖隷浜松病院）

日程表

【1日目 11月18日(土)】

講演会場		
多目的ホール A・B・C		多目的ホール D
9:30		9:30
10:00	開会の挨拶 10:00～10:10	10:00
10:30	10:10～12:10	10:30
11:00	シンポジウム1 胎児治療最前線：世界と日本 The cutting edge of fetal therapy in the world and Japan	11:00
11:30	座長：左合 治彦、上園 晶一 演者：Roland Devlieger 左合 治彦 瀬尾 晃平 三浦雄一郎 梶原 一紘	11:30
12:00		12:00
12:30	ランチョンセミナー1 12:25～13:25 3D超音波開発秘話	12:30
13:00	座長：村越 毅 演者：馬場 一憲 共催：GEヘルスケア・ジャパン株式会社	幹事会 13:00
13:30		13:30
14:00	一般演題1 幹細胞移植・内科治療 13:40～14:10 座長：室月 淳	14:00
14:30	一般演題2 胎児貧血・輸血 14:20～15:10 座長：宮下 進	14:30
15:00		15:00
15:30	Coffee Break 15:10～15:30	15:30
16:00	一般演題3 双胎・胎児鏡治療1 15:30～16:20 座長：高橋 雄一郎	16:00
16:30	一般演題4 双胎・胎児鏡治療2 16:30～17:10 座長：石井 桂介	16:30
17:00		17:00
17:30	特別講演1 17:20～18:20 「胎児の医療と女性・社会」	17:30
18:00	座長：小澤 千恵 演者：河合 蘭	18:00
18:30		18:30
19:00		18:45～20:45 19:00
19:30		19:30
20:00		20:00
20:30		20:30

【2日目 11月19日(日)】

講演会場		
多目的ホール A・B・C		多目的ホール D
9:30		9:30
10:00	<p>一般演題5 小児外科疾患 座長：北川 博昭</p>	10:00
10:30		10:30
11:00	<p>一般演題6 胎児治療の麻酔 座長：狩谷 伸享</p>	11:00
11:30		11:30
12:00	<p>特別講演2 [Fetal anesthesia;basic principles and update] 座長：香川 哲郎 演者：Sarah Devroe</p>	12:00
12:30		12:30
13:00	<p>ランチョンセミナー2 胎児形態スクリーニング検査における次世代の マトリックス3Dプローブの意義と Scan Assistant 座長：菊池 昭彦 演者：松岡 隆 共催：GEヘルスケア・ジャパン株式会社</p>	13:00
13:30		13:30
14:00	<p>総会 13:45～14:00</p>	14:00
14:30		14:30
15:00	<p>シンポジウム2 胎児治療を支える麻酔の力 座長：中田 雅彦、鈴木 康之 演者：佐藤 正規 古川 力三・武藤 理香 鳥海 岳 野口 翔平 コメンテーター：Sarah Devroe</p>	15:00
15:30		15:30
16:00		16:00
16:30	<p>閉会の挨拶 16:10～16:20</p>	16:30
17:00		17:00
17:30		17:30
18:00		18:00
18:30		18:30
19:00		19:00
19:30		19:30
20:00		20:00
20:30		20:30

プログラム

講演会場 (1F 多目的ホール A・B・C)

開会の挨拶

18日(土) 10:00～10:10

シンポジウム 1 胎児治療最前線：世界と日本

18日(土) 10:10～12:10

The cutting edge of fetal therapy in the world and Japan

Chairs: Haruhiko Sago (Center of Maternal-Fetal, Neonatal and Reproductive Medicine, National Center for Child Health and Development, Tokyo, Japan)

Shoichi Uezono (Department of Anesthesiology, The Jikei University

School of Medicine)

S1-1 The cutting edge of fetal therapy in the world

¹⁾ Associate Professor, Department of Development and Regeneration Organ Systems, University of Leuven, Belgium

○Roland Devlieger¹⁾

S1-2 Overview of Fetal Therapy in Japan

¹⁾ Center of Maternal-Fetal, Neonatal and Reproductive Medicine, National Center for Child Health and Development, Tokyo, Japan

○Haruhiko Sago¹⁾

S1-3 Results and its problems in fetal HIFU therapy

¹⁾ Showa University Northern Yokohama Hospital, Department of Obstetrics and Gynecology

²⁾ Aiiku Hospital, Department of Obstetrics and Gynecology

³⁾ Showa University School of Medicine, Department of Obstetrics and Gynecology

○Kohei Seo¹⁾, Kiyotake Ichizuka¹⁾, Takashi Okai²⁾, Satoshi Dohi¹⁾, Ryu Matsuoka³⁾, Masaaki Nagatsuka¹⁾, Akihiko Sekizawa³⁾

S1-4 *Ex-vivo* Uterine Environment Therapy – an Experimental Treatment Strategy for Extremely Preterm Infants –

¹⁾ Department of Neonatology, Miyagi Children's Hospital

Department of Pediatrics, Tohoku University Graduate School of Medicine

Division of Obstetrics and Gynaecology, The University of Western Australia

○Yuichiro Miura¹⁾

S1-5 Application of amniotic fluid-derived induced pluripotent stem cells for fetal therapy

¹⁾ Department of Obstetrics and Gynecology, The Jikei University School of Medicine

²⁾ Department of Obstetrics and Gynecology, Eastern Chiba Medical Center

³⁾ Center of Maternal-Fetal, Neonatal and Reproductive Medicine, National Center for Child Health and Development

⁴⁾ Department of Reproductive Biology, Center for Regenerative Medicine, National Center for Child Health and Development

○Kazuhiro Kajiwara^{1),4)}, Seiji Wada³⁾, Yu Ikemoto⁴⁾, Yoshie Oishi⁴⁾, Hiroaki Aoki¹⁾, Norimasa Ihara⁴⁾, Tomohiro Tanemoto²⁾, Osamu Samura¹⁾, Hidenori Akutsu⁴⁾, Haruhiko Sago³⁾, Akihiro Umezawa⁴⁾, Aikou Okamoto¹⁾

座長：村越 毅（聖隷浜松病院 総合周産期母子医療センター）

3D 超音波開発秘話

- ¹⁾ 埼玉医科大学総合医療センター総合周産期母子医療センター 母体・胎児部門
○馬場 一憲¹⁾

共催：GEヘルスケア・ジャパン株式会社

一般演題 1 幹細胞移植・内科治療

18日(土) 13:40～14:10

座長：室月 淳（宮城県立こども病院 産科）

- 1-1 ヒト羊水幹細胞の羊水腔内注入によるラット脊髄髄膜瘤の治療効果に関する検討
¹⁾ 慶應義塾大学医学部産婦人科
○落合 大吾¹⁾、阿部 雄志¹⁾、大谷 利光¹⁾、福武 麻里絵¹⁾、升田 博隆¹⁾、佐藤 佑¹⁾、
秋葉 洋平¹⁾、松本 直¹⁾、宮越 敬¹⁾、田中 守¹⁾
- 1-2 Dual-gate Doppler 法による動脈波形の時間差は新しい胎児管理の指標となるか
¹⁾ 長良医療センター産科
○岩垣 重紀¹⁾、高橋 雄一郎¹⁾、千秋 里香¹⁾、浅井 一彦¹⁾、小池 雅子¹⁾、桂 大輔¹⁾、
安見 駿佑¹⁾、古橋 円¹⁾
- 1-3 ステロイドによる胎児治療を施行したI度房室ブロックの1例
¹⁾ 近畿大学医学部附属病院 小児科、²⁾ ふじたクリニック
○今岡 のり¹⁾、稲村 昇¹⁾、藤田 富雄²⁾、竹村 司¹⁾

一般演題 2 胎児貧血・輸血

18日(土) 14:20～15:10

座長：宮下 進（獨協医科大学 総合周産期母子医療センター 産科部門）

- 2-1 MD 双胎一児死亡における co-twin の予後不良の病態～胎児輸血の効果の再考～
¹⁾ 国立病院機構長良医療センター 産科、²⁾ 松波総合病院
○高橋 雄一郎¹⁾、岩垣 重紀¹⁾、千秋 里香¹⁾、浅井 一彦¹⁾、小池 雅子¹⁾、桂 大輔¹⁾、
川鱈 市郎²⁾
- 2-2 双胎貧血多血症（TAPS）の出生前診断基準を満たしたが、胎児採血により否定された selective IUGR の一例
¹⁾ 大阪母子医療センター 産科
○中西 研太郎¹⁾、石井 桂介¹⁾、山本 亮¹⁾、川口 晴菜¹⁾、林 周作¹⁾、光田 信明¹⁾
- 2-3 重症胎児貧血を呈した抗 Jra 抗体陽性妊娠に対して胎児輸血を施行した1例
¹⁾ 宮城県立こども病院 産科
○利光 正岳¹⁾、室月 淳¹⁾、室本 仁¹⁾、永岡 晋一¹⁾、小堀 周作¹⁾
- 2-4 抗 Jra 抗体による血液型不適合妊娠の臨床的特徴
¹⁾ 大阪母子医療センター 産科
○藤川 恵理¹⁾、金川 武司¹⁾、笹原 淳¹⁾、中西 研太郎¹⁾、染谷 真行¹⁾、山下 亜貴子¹⁾、
川口 晴菜¹⁾、山本 亮¹⁾、岡本 陽子¹⁾、石井 桂介¹⁾、光田 信明¹⁾

2-5 胎児輸血を繰り返した既往のある妊婦 2 症例

¹⁾ 埼玉医科大学総合医療センター総合周産期母子医療センター母体胎児部門

²⁾ 埼玉医科大学総合医療センター産婦人科

○佐藤 翔¹⁾、木崎 雄一郎¹⁾、江良 澄子¹⁾、見上 由紀子¹⁾、小野 義久¹⁾、松永 茂剛²⁾、長井 智則²⁾、高井 泰²⁾、斎藤 正博¹⁾、馬場 一憲¹⁾、関 博之¹⁾

Coffee Break

18日(土) 15:10 ~ 15:30

一般演題3 双胎・胎児鏡治療1

18日(土) 15:30 ~ 16:20

座長：高橋 雄一郎（国立病院機構長良医療センター 産科）

3-1 TTTS に対する胎児鏡下レーザー凝固術における Solomon 法と従来法の後方視的比較検討

¹⁾ 国立成育医療研究センター 周産期・母性診療センター胎児診療科

○金沢 誠司¹⁾、杉林 里佳¹⁾、小澤 克典¹⁾、和田 誠司¹⁾、左合 治彦¹⁾

3-2 同一術者による胎児鏡下胎盤吻合血管レーザー凝固術の治療成績およびラーニングカーブの検討

¹⁾ 国立成育医療研究センター 周産期・母性診療センター

²⁾ 東北大学大学院先進成育医学講座胎児医学分野、³⁾ 宮城県立こども病院 産科

○室本 仁¹⁾、室月 淳²⁾、小堀 周作²⁾、永岡 晋一²⁾、利光 正岳³⁾

3-3 当院で施行した胎児鏡下胎盤吻合血管レーザー凝固術の検討

¹⁾ 東邦大学医療センター大森病院 産婦人科

²⁾ 東邦大学医療センター大森病院 新生児科

○河西 貞智¹⁾、鷹野 真由実¹⁾、中田 雅彦¹⁾、長崎 澄人¹⁾、上山 怜¹⁾、早田 英二郎¹⁾、大路 斐子¹⁾、前村 俊満¹⁾、与田 仁志²⁾、森田 峰人¹⁾

3-4 Cerebroplacental ratio を用いた胎児鏡下レーザー術後の晩期胎児死亡のリスクの評価についての研究

¹⁾ 東邦大学大学院医学研究科産婦人科学講座

○鷹野 真由実¹⁾、中田 雅彦¹⁾、河西 貞智¹⁾、長崎 澄人¹⁾、上山 怜¹⁾、早田 英二郎¹⁾、大路 斐子¹⁾、前村 俊満¹⁾、森田 峰人¹⁾

3-5 胎児鏡下レーザー手術を施行した Selective IUGR を伴う一絨毛膜双胎の周産期予後

¹⁾ 大阪母子医療センター 産科、²⁾ 国立成育医療研究センター 胎児診療科、

³⁾ 東邦大学医学部産科婦人科学教室、⁴⁾ 聖隷浜松病院 産婦人科

○石井 桂介¹⁾、和田 誠司²⁾、鷹野 真由美³⁾、山本 亮¹⁾、山下 亜貴子⁴⁾、中田 雅彦³⁾、村越 毅⁴⁾、左合 治彦²⁾

一般演題4 双胎・胎児鏡治療2

18日(土) 16:30 ~ 17:10

座長：石井 桂介（大阪母子医療センター 産科）

4-1 双胎間輸血症候群に対し sequential 法、solomon 法によるレーザー治療を行ったが、双胎貧血多血症を発症し、胎児死亡となった一例

¹⁾ 川崎医科大学 産婦人科学1

○村田 晋¹⁾、松本 良¹⁾、中井 祐一郎¹⁾、下屋 浩一郎¹⁾

- 4-2 selective IUGR で胎児鏡下レーザー凝固術の適応とならず一児死亡と生存児の脳障害を認めた3例
¹⁾ 国立成育医療研究センター
 ○串本 卓哉¹⁾、小澤 克典¹⁾、松井 仁志¹⁾、赤石 理奈¹⁾、杉林 里佳¹⁾、和田 誠司¹⁾、
 左合 治彦¹⁾
- 4-3 双胎間輸血症候群に対するレーザー治療後の受血児に肺嚢胞性疾患を認めた3例
¹⁾ 国立成育医療研究センター 周産期・母性診療センター胎児診療科
 ○杉林 里佳¹⁾ 串本 卓哉¹⁾、松井 仁志¹⁾、赤石 理奈¹⁾、小澤 克典¹⁾、和田 誠司¹⁾、
 左合 治彦¹⁾
- 4-4 無心体の臍帯を胎児鏡下レーザー切断術によって離断した monoamniotic TRAP sequence の1例
¹⁾ 大阪母子医療センター 産科
 ○林 周作¹⁾、石井 桂介¹⁾、川口 晴菜¹⁾、山本 亮¹⁾、光田 信明¹⁾

特別講演 1

18日(土) 17:20～18:20

座長：小澤 千恵（埼玉医科大学総合医療センター総合周産期母子医療センター 看護部）

SL-1 胎児の医療と女性・社会

¹⁾ 出産ジャーナリスト

○河合 蘭¹⁾

一般演題 5 小児外科疾患

19日(日) 9:30～10:20

座長：北川 博昭（聖マリアンナ医科大学 小児外科）

- 5-1 胎児診断された先天性右横隔ヘルニア症例の予後
¹⁾ 大阪母子医療センター 産科
 ○笹原 淳¹⁾、染谷 真之¹⁾、山下 亜貴子¹⁾、川口 晴菜¹⁾、山本 亮¹⁾、金川 武司¹⁾、
 岡本 陽子¹⁾、光田 信明¹⁾
- 5-2 胎児横隔膜ヘルニアに対する胎児鏡下気管閉塞術前後の超音波及びMRIによる肺の大きさの変化
¹⁾ 国立成育医療研究センター 周産期母性診療センター
 ○須山 文緒¹⁾、小澤 克典¹⁾、杉林 里佳¹⁾、和田 誠司¹⁾、左合 治彦¹⁾
- 5-3 人工羊水を用いて胸腔・羊水腔用水腔シャントを施行し胎児胸水が改善した2例
¹⁾ 東邦大学医療センター大森病院 産婦人科、²⁾ 東邦大学医療センター大森病院 新生児科
 ○長崎 澄人¹⁾、鷹野 真由実¹⁾、佐久間 淳也¹⁾、上山 怜¹⁾、梅村 なほみ¹⁾、早田 英二郎¹⁾、
 荒井 博子²⁾、片桐 由起子¹⁾、与田 仁志²⁾、中田 雅彦¹⁾、森田 峰人¹⁾
- 5-4 当院二分脊椎外来での新しい取り組み：質の高い継続性のある医療を求めて
¹⁾ 東京大学 小児外科
 ○渡邊 美穂¹⁾
- 5-5 胎児仙尾部奇形腫による高心拍出性心不全を呈した児に対するラジオ波凝固術の一例
¹⁾ 大阪母子医療センター 産科
 ○川口 晴菜¹⁾、石井 桂介¹⁾、染谷 真行¹⁾、笹原 淳¹⁾、金川 武司¹⁾、光田 信明¹⁾

座長：狩谷 伸享 (兵庫医科大学 麻酔科学・疼痛制御科学講座)

- 6-1 胎児穿刺術時の安全かつ確実な胎児無動化の検討
¹⁾ 長良医療センター 産科
 ○浅井 一彦¹⁾、高橋 雄一郎¹⁾、岩垣 重紀¹⁾、千秋 里香¹⁾、小池 雅子¹⁾、桂 大輔¹⁾
- 6-2 娩出時臍帯非切断下気道確保 (EXIT) における脊髄くも膜下硬膜外併用全身麻酔 (CEGA) と全身麻酔の比較
¹⁾ 昭和大学横浜市北部病院、²⁾ 昭和大学横浜市北部病院・産婦人科
³⁾ 昭和大学・医学部・産婦人科学講座、⁴⁾ 国立成育医療研究センター・胎児診療科
⁵⁾ 埼玉医科大学・産婦人科、⁶⁾ 日本大学医学部附属板橋病院・産婦人科
⁷⁾ 静岡県立こども病院・産科、⁸⁾ 東京大学医学部附属病院・女性診療科・産科
⁹⁾ 東京慈恵会医科大学附属病院・産婦人科、¹⁰⁾ 順天堂大学医学部附属浦安病院・産婦人科
 ○土肥 聡¹⁾、市塚 清健²⁾、松岡 隆³⁾、瀬尾 晃平²⁾、小澤 克典⁴⁾、和田 誠司⁴⁾、
 左合 治彦⁴⁾、田丸 俊輔⁵⁾、亀井 良政⁵⁾、中村 晃和⁶⁾、市川 剛⁶⁾、河村 隆一⁷⁾、
 西口 富三⁷⁾、設楽 理恵子⁸⁾、永松 健⁸⁾、青木 宏明⁹⁾、佐村 修⁹⁾、田嶋 敦¹⁰⁾、
 吉田 幸洋¹⁰⁾、長塚 正晃²⁾、関沢 明彦³⁾
- 6-3 超音波ガイド下胎児治療におけるデクスメトミジン母体投与の経験
¹⁾ 埼玉医科大学総合医療センター産科麻酔科
 ○鈴木 香合¹⁾、大橋 夕樹¹⁾、成瀬 智¹⁾、菊池 佳奈¹⁾、野口 翔平¹⁾、成田 優子¹⁾、
 田村 和美¹⁾、加藤 梓¹⁾、近藤 勇人¹⁾、田中 基¹⁾、照井 克生¹⁾
- 6-4 EXIT (ex-utero intrapartum therapy) 7症例の麻酔経験
¹⁾ 国立成育医療研究センター産科麻酔科
 ○佐藤 正規¹⁾、三辻 礼美¹⁾、山下 陽子¹⁾、久保 浩太¹⁾、鈴木 康之¹⁾
- 6-5 胎児診断された骨形成不全症 (Osteogenesis Imperfecta:OI) に対し、子宮内間葉系幹細胞移植を行った1症例: 出生後2年間経過して
¹⁾ 大阪大学産婦人科
 ○遠藤 誠之¹⁾、岡田 愛子¹⁾、梶本 恵津子¹⁾、田中 博子¹⁾、小和 貴雄¹⁾、川西 陽子¹⁾、
 柿ヶ野 藍子¹⁾、味村 和哉¹⁾、富松 拓治¹⁾、奥山 宏臣¹⁾、木村 正¹⁾

座長：香川 哲郎 (兵庫県立こども病院 麻酔科)

- SL-2 Fetal anaesthesia; Basic principles and update
¹⁾ Associate Head of Clinic, Department of Anesthesiology, University Hospitals Leuven, Belgium
 ○Sarah Devroe¹⁾

座長：菊池 昭彦 (岩手医科大学 産婦人科)

- 胎児形態スクリーニング検査における次世代のマトリックス 3D プローブの意義と Scan Assistant
¹⁾ 昭和大学医学部 産婦人科
 ○松岡 隆¹⁾

共催：GE ヘルスケア・ジャパン株式会社

シンポジウム2 胎児治療を支える麻酔の力

19日（日） 14：10～16：10

座長：中田 雅彦（東邦大学医学部産科婦人科学講座）

鈴木 康之（国立成育医療研究センター麻酔・集中治療科）

コメンテーター：Sarah Devroe（Associate Head of Clinic, Department of Anesthesiology, University Hospitals Leuven, Belgium）

S2-1 レミフェンタニルを用いた胎児治療の麻酔

¹⁾ 国立成育医療研究センター 麻酔科

○佐藤 正規¹⁾

S2-2 FLPの麻酔とセットアップ

¹⁾ 東邦大学医療センター大森病院 麻酔科

○古川 力三¹⁾、武藤 理香¹⁾

S2-3 胎児治療における Monitored anesthesia care（MAC）と麻酔科医

¹⁾ JCHO 徳山中央病院 麻酔科

○鳥海 岳¹⁾

S2-4 日本における胎児治療の麻酔の現況

¹⁾ 埼玉医科大学総合医療センター 産科麻酔科

○野口 翔平¹⁾、田中 基¹⁾、近藤 勇人¹⁾、加藤 梓¹⁾、成瀬 智¹⁾、成田 優子¹⁾、
大橋 夕樹¹⁾、田村 和美¹⁾、照井 克生¹⁾